

河川・
護岸製品

擁壁類

道路製品類

横断溝類

側溝・
境界ブロック類

高速道路用
製品類

大型水路類

管渠類

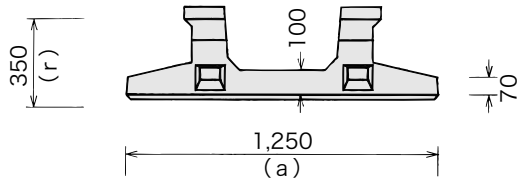
その他

特長

- 1 アントラーは控え長さ 35cm、1㎡当たり 1個使用の大型ブロックで省力設計に適しています。
- 2 アントラーは 5分勾配でも自立し、機械施工による省力化、迅速化が図られ、施工費が削減されます。
- 3 アントラーは吊り込み据え付け専用治具を使用する事により、ブロックの据え付けが確実・簡単・迅速に行う事ができ、施工性・安全性が向上します。
- 4 アントラーは基礎部分がプレキャスト化されていますので、更に省力化、工期の短縮が図れます。
- 5 直高 5.0m 以下では、正六角形の宮崎県協会型大型積みブロック (JIS A 5232-18A) と同様の経験に基づく設計法 (日本道路協会編 道路土工 擁壁工指針) に基づいてご利用頂けます。(裏込めコンクリート厚さを調整。)
- 6 直高 5.0m 以上の場合は、背面土の条件や背面荷重条件及び前面水位条件等を考慮して安定計算を行い、必要控え厚さを算定の上、所定の裏込めコンクリート厚さを打設する事で対応できます。
- 7 その際、新開発の裏型枠専用パネルにて必要最小限の裏込めコンクリート厚さを確保しながら施工ができる為、控えの長さが 25cm や 50cm ピッチの裏型枠一体大型ブロックに比べて経済的に優れています。
- 8 従来の製品高さ 80cm と 40cm に加えて、今回 50cm と 30cm の製品をラインナップしましたので、法長に 10cm 刻みで対応する事ができるようになりました。
- 9 アントラーの表面には自然石模様を採用し、景観に調和するように配慮されています。
- 10 明度証明書を取得しており、平均明度はA型:5.0、C型:4.5、500型:4.5、300型:4.5となります。
- 11 宮崎県協会型積みブロックと比較試験を行い、同等の耐力を有していることを確認しました。

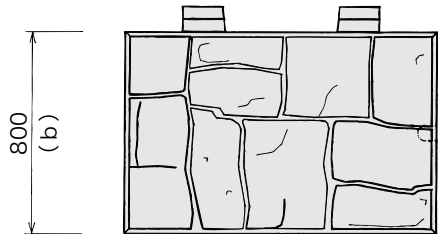
●基本型(A型)

平面図

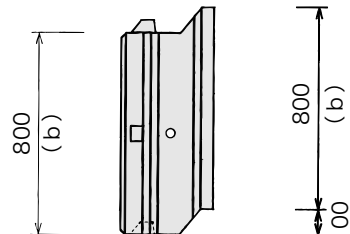


a	±5
b	±5
r	+10,-5

正面図



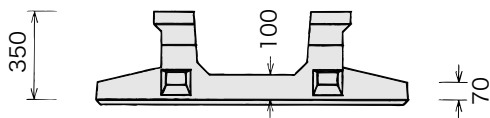
側面図



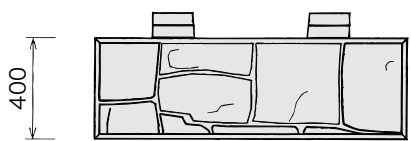
参考重量 410kg

●高さ1 / 2型(C型)

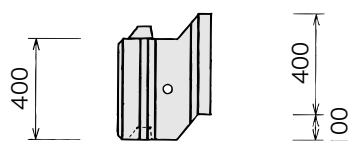
平面図



正面図



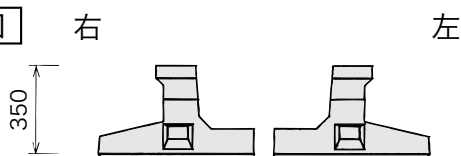
側面図



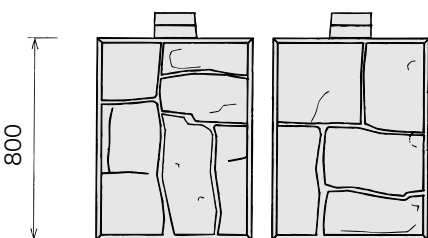
参考重量 205kg

●長さ1 / 2型(B型)

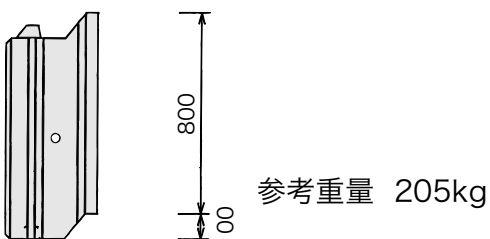
平面図



正面図



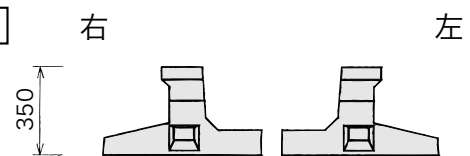
側面図



参考重量 205kg

●1 / 4型(D型)

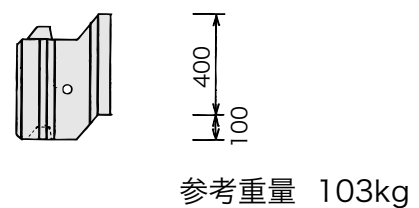
平面図



正面図



側面図

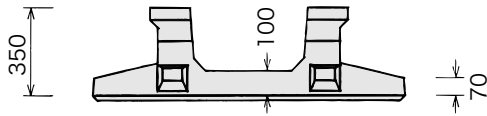


参考重量 103kg

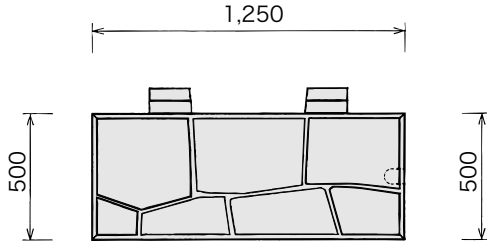
注) 表面の様子は、実物と異なります。

●500型

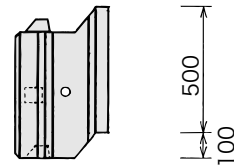
平面図



正面図



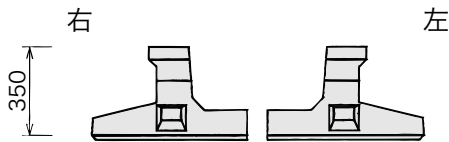
側面図



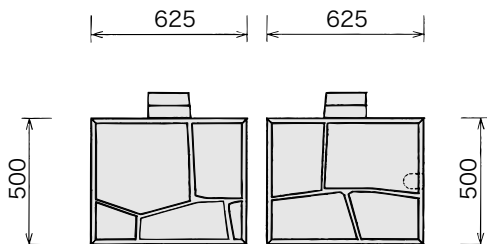
参考重量 256kg

●500型 長さ1 / 2型

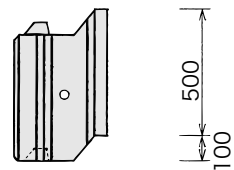
平面図



正面図



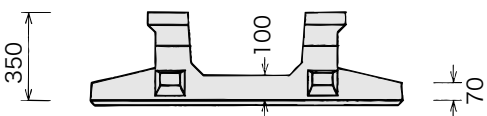
側面図



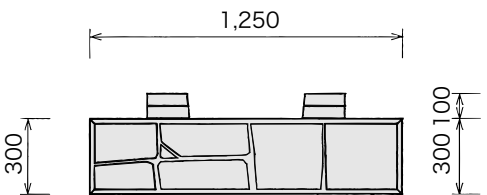
参考重量 128kg

●300型

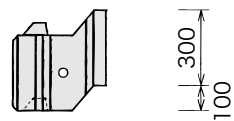
平面図



正面図



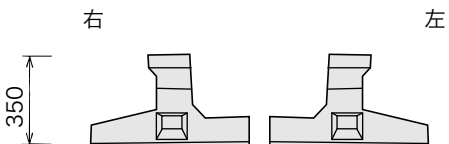
側面図



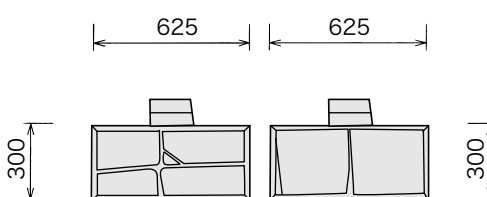
参考重量 154kg

●300型 長さ1 / 2型

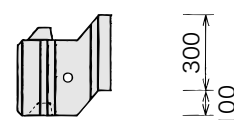
平面図



正面図



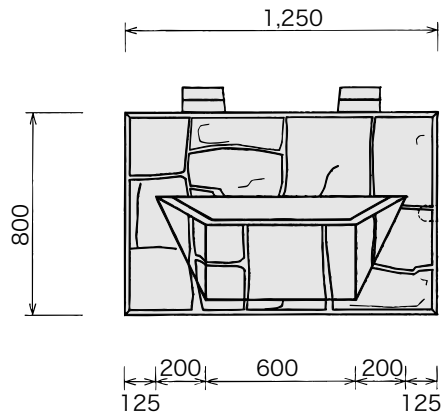
側面図



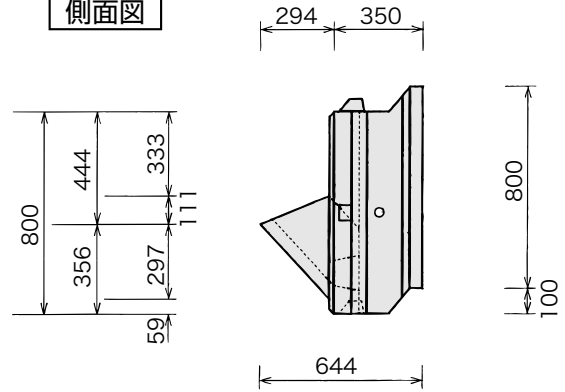
参考重量 77kg

●ポケット緑化ホール

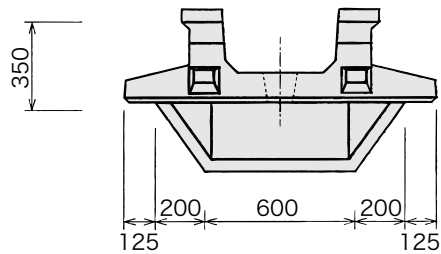
正面図



側面図



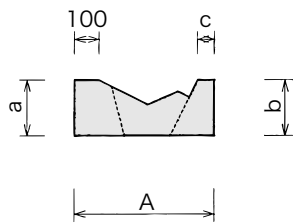
平面図



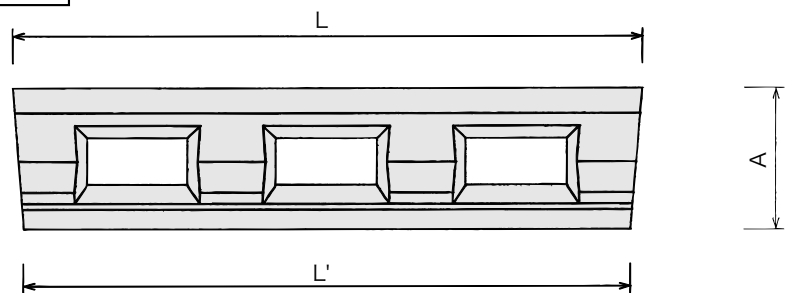
参考重量 485kg

●基礎ブロック

側面図



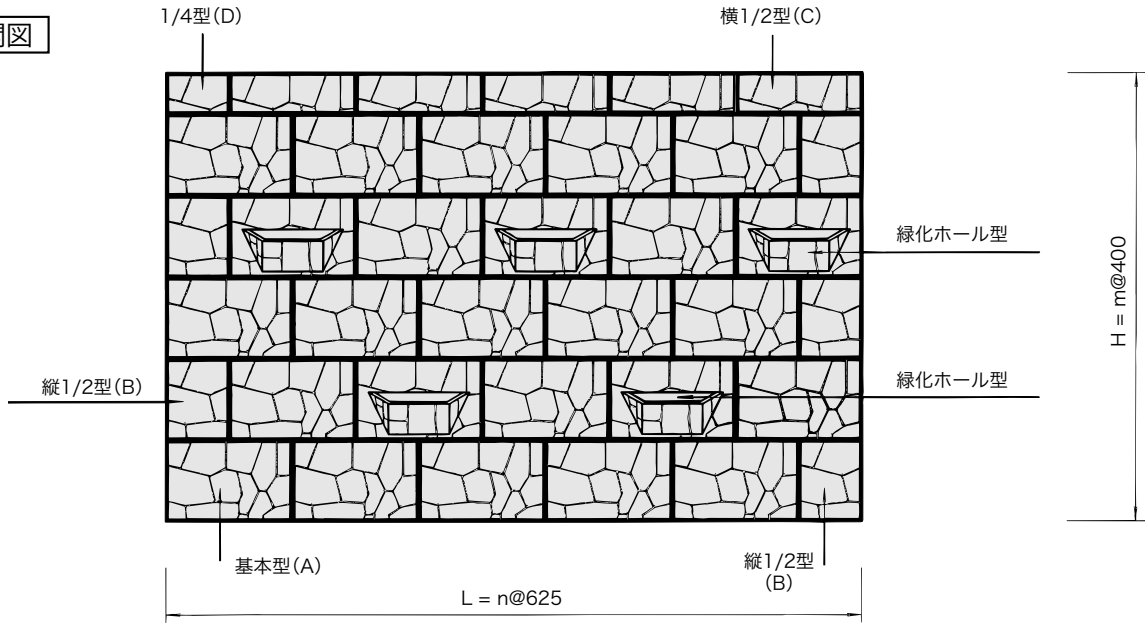
平面図



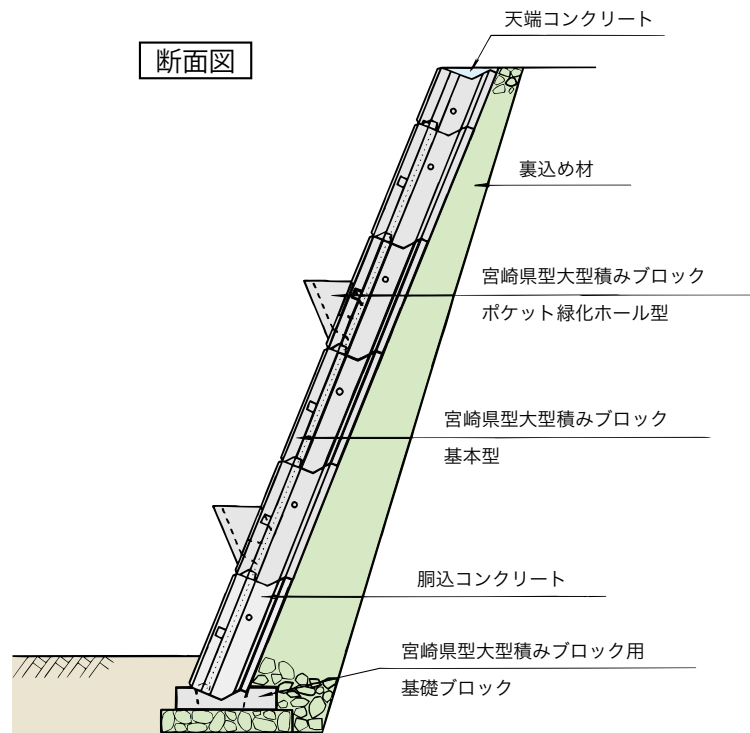
区分	寸法(mm)						参考質量(kg)
	A	a	b	c	L	L'	
5分勾配	560	220	220	80	2,495	2,408	463
					1,870	1,783	365
					1,245	1,158	255
許容誤差		±5			±10	-	

施工標準図

展開図



断面図



天端コンクリート量 10m当たり

勾配	コンクリート量 m ³
1 : 0.3	0.088
1 : 0.4	0.136
1 : 0.5	0.192

歩掛例

■ブロック積工歩掛例

10m当たり

名称	規格	単位	数量
県型大型積みブロック	1250 × 800 × 350	個	10.0
胴込コンクリート		m ³	1.80
世話役		人	0.20
ブロック工		//	0.80
普通作業員		//	0.40
ラフテレーンクレーン賃料	25	日	0.40
諸雑費		式	1.00
計			

本歩掛は、150kg / 個以上の積みブロック据付歩掛による。
基礎工、天端工及び裏込工は、別途計上して下さい。
上記歩掛には、胴込コンクリート工の手間は含まれておりません。
諸雑費は、労務費の4.0%

■基礎ブロック敷設歩掛例

10m当たり

名称	規格	単位	数量
基礎ブロック	560 × 2500	個	4.0
世話役		人	0.12
特殊作業員		//	0.12
普通作業員		//	0.30
ラフテレーンクレーン賃料	15 ~ 16t 吊り	日	0.12
中詰材		式	1.0
計			

運搬距離 30m 程度までの小運搬を含む据付作業のみである。
中詰土は現場発生土を使用する。
河川工事時については、コンクリートを充填すること。